



学校保健委員会

17日(水)学校医の和久田先生と保健センターから講師の方をお招きし、学校保健集会を行いました。テーマは「歯みがき上手なさくらっ子」です。初めに、保健委員会による寸劇がありました。事前アンケートの結果から、桜町小学校の児童は夜の歯磨きはできていても、朝と昼の歯磨きはできていない子がいることがわかりました。歯磨きも、適当にやっけては効果が無いことも教えてくれました。



講師の先生からは、歯磨きの重要性について話がありました。まず、「歯だけの話じゃない」として、歯が健康であると、「記憶力や集中力がアップする」こと

と、その結果勉強やスポーツができるようになること、病気の予防にもなることなどを教えていただきました。また、人間の永久歯は一度無くしてしまうと生えてこないの、大切にしなければいけないことも分かりました。そして、永久歯が生え始める小学校、中学校の時期の歯磨きが、特に大事だということでした。なぜなら、生え始めたばかりの歯は表面がでこぼこしていて柔らかく、虫歯になりやすいからです。しっかり硬い歯になるまで10年かかるそうです。今、頑張れば、大人になったときに強い歯でいられるということです。

最後に、歯磨きの注意点や磨き方について教えてもらいました。22日～の「目指せ！歯みがきの達人～ピタコチョみがきとキラピカルートでばっちり～」のときに実践できるといいです。朝と夜の歯磨きでもしっかり磨いていきたいです。



読書週間

15日(月)～26日(金)に読書週間が行われています。図書委員会のスローガン「読書であふれる桜っ子」を目指しています。低中学年に合わせた読書カードを図書委員が作成し、カードにあるミッションの本を読むとスタンプがもらえます。図書委員会で、たくさん借りてくれているけど、読んでる本に偏りがあるから、もっといろいろな本を読んで読書の楽しさを知ってもらいたいという意見から、カードの工夫をしたそうです。スタンプの枠には、分類番号や本の内容などを書いて、普段あまり読まない本を手にとるようにしています。この取り組みで、桜っ子の読書の幅が広がると思います。



全校授業研究会

22日(月)6年1組において、算数の全校授業研究会が行われました。桜町小学校では、「自分や友達の良さを認めることができる子の育成～個別最適な学びを基盤とした協働的な学びの授業づくり～」を主題として研究を進めています。課題に対してどのように取り組んでいくかを自分で考えることができるようにしました。この問題なら一人で頑張ればできる」と判断した子は一人で、「自分にとっては少し難しい」と考えた子は友達と取り組みました。正解を出すことはもちろん大切なことですが、これからの子どもたちには、正解にたどり着くまでのプロセスを自分自身で選択して実行していく力が必要になります。その力を日々の授業の中で育てていこうと考えています。さらに、「教え合う」時に、一度理解したことを友達に分かりやすく説明するアウトプットの時間がさらに理解を深めることになりました。算数だけではなく、様々な場面で、自分に合った学び方を考え解決に向かう姿と、学び合う中で理解を深めたり考えを広げたりする姿を目指していきたいです。

